

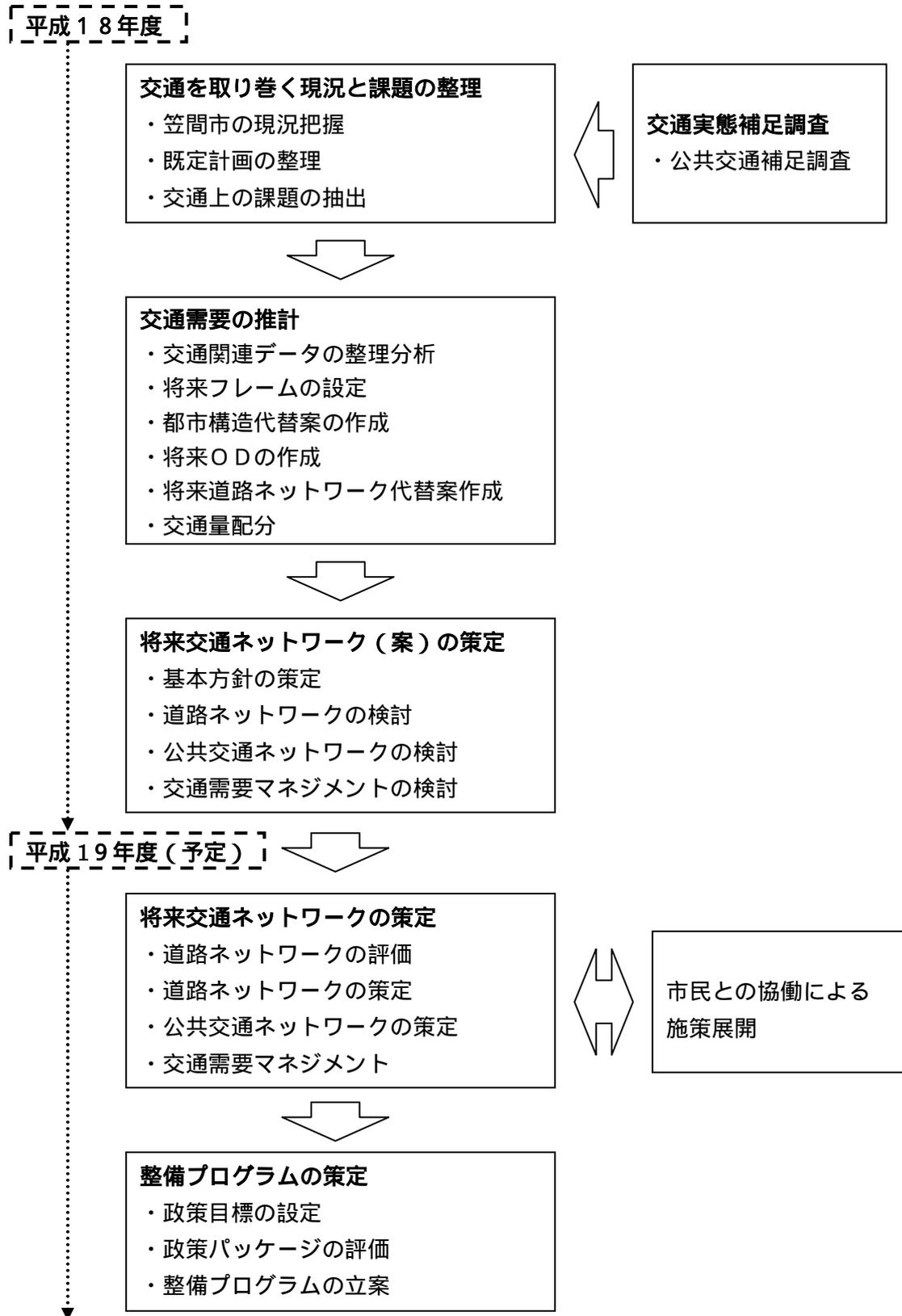
## 1 調査目的

歴史、自然と文化に恵まれた観光資源が豊富な旧笠間市、交通網に恵まれた旧友部町、農業を中心とした発展から産業的な発展の著しい旧岩間町が合併して誕生した新笠間市では、JR 常磐線と水戸線、常磐自動車道と北関東自動車道が走り、6 駅と 2 つのインターチェンジ、さらに常磐自動車道の友部サービスエリアに接続するスマートインターチェンジを有しており、新市まちづくり計画においても、「恵まれた交通基盤を活かしたまちづくり」を新市まちづくりの重点ビジョンに定めている。

今後は、新たに北関東自動車道の一部開通とそれに伴うインターチェンジの設置により、交通の利便性がさらに高まることが予想される一方、交通の要所である JR 友部駅周辺整備事業による北口の開設や環状線の整備などを含めた交通流動の変化が、これまでの交通体系に大きな影響を及ぼすことが想定されている。

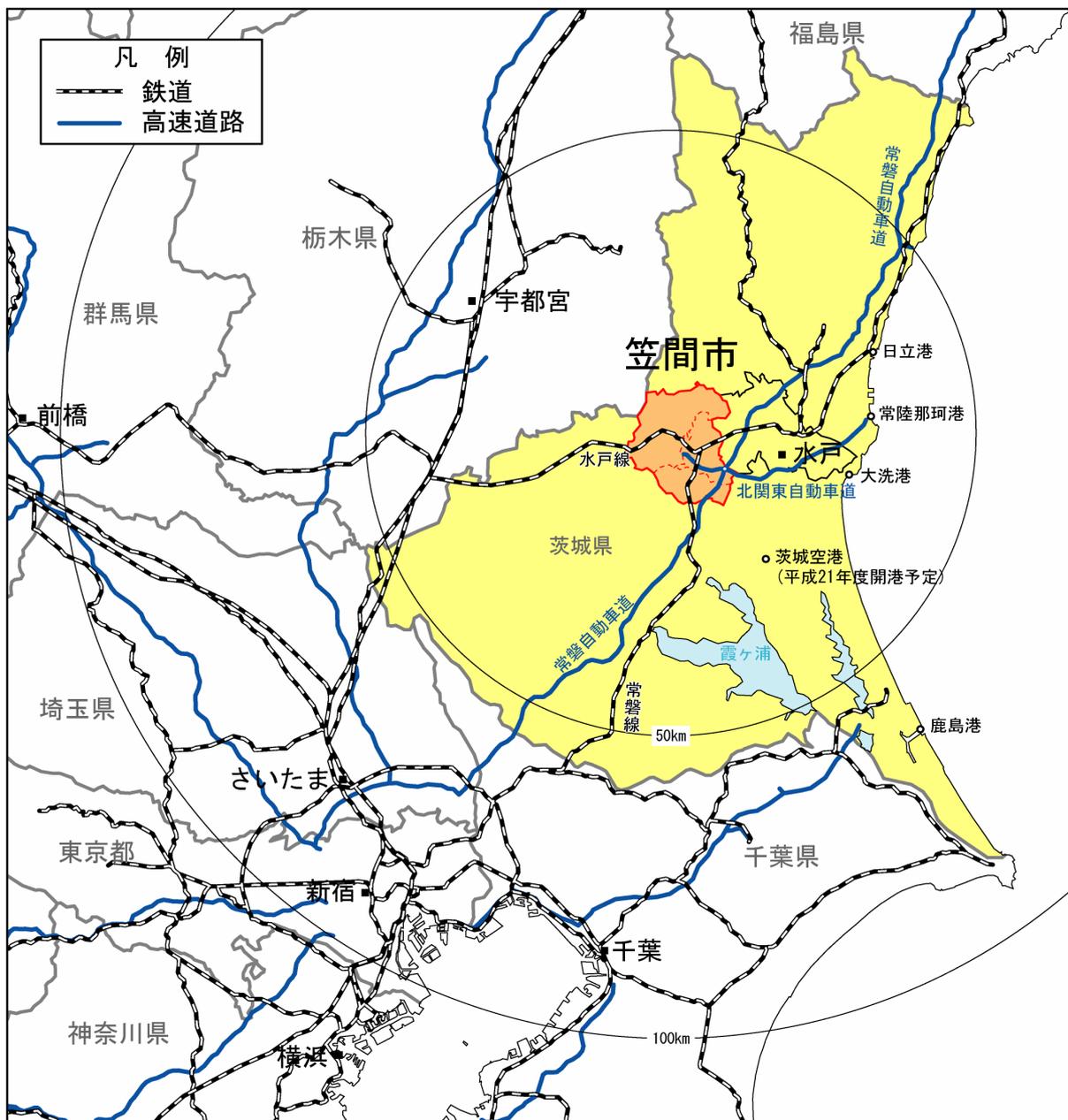
これらの変化を受け止めながら、新市のもつ地理的優位性を活かしたまちづくりを進めるためには、広域幹線道路と地域内の幹線道路を整備し、地域の一体化を容易にするなどによって合併効果を高めていく必要があり、本調査は、合併後の新笠間市が整備する総合的な交通体系の方針、具体的な整備計画及び施策の実施について検討することを目的とする。

## 2 調査フロー



### 3 調査圏域図

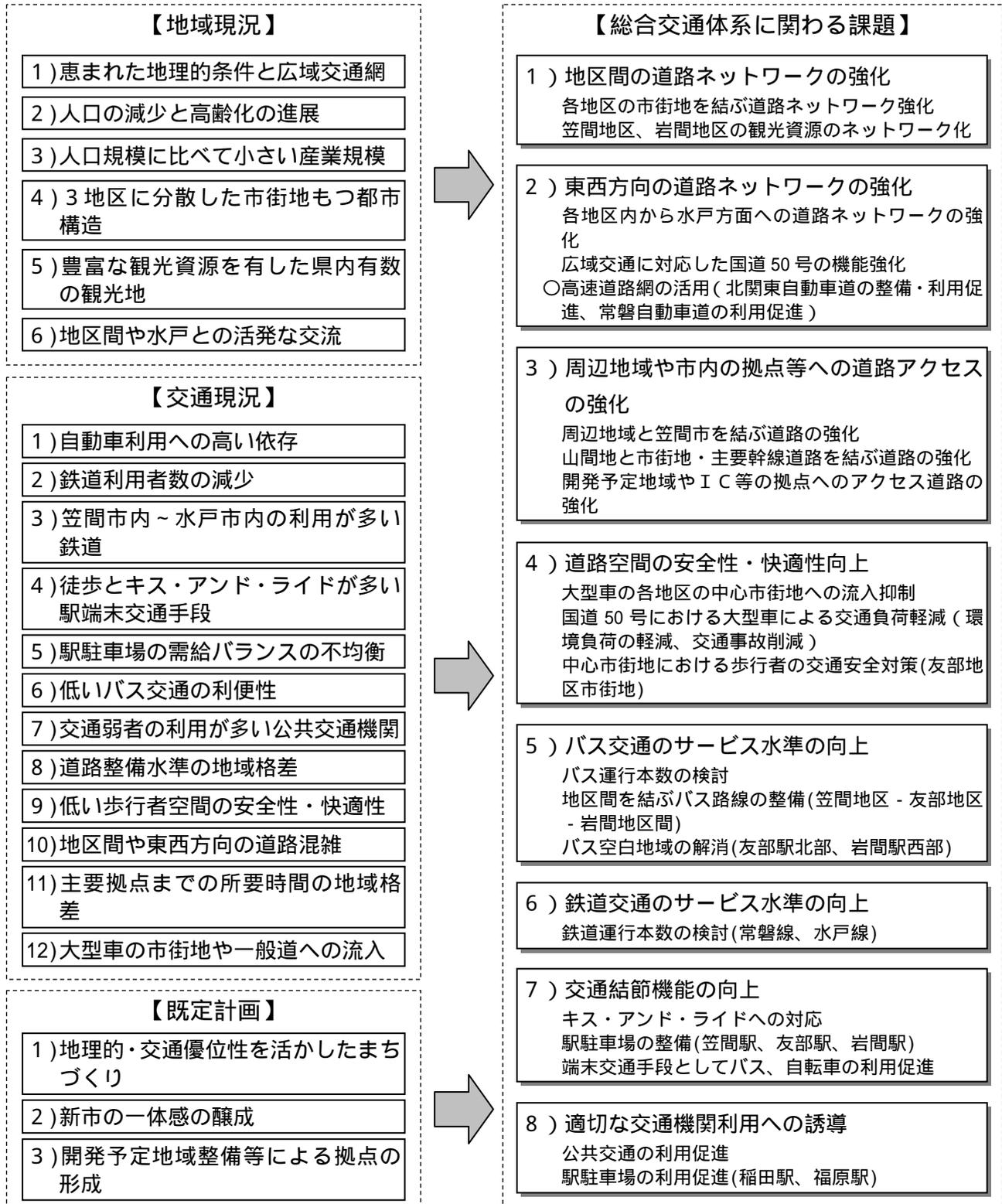
調査圏域は、笠間市全域とする。



## 4 調査成果

### 4 - 1 交通を取り巻く現況と課題

笠間市の交通を取り巻く現況に対する総合交通体系に関わる課題を以下に整理する。



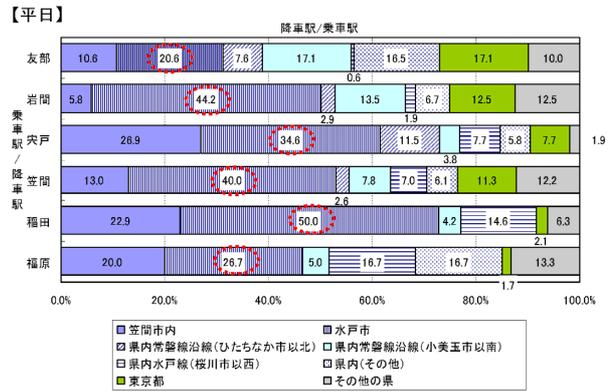


#### 4 - 2 公共交通補足調査の実施

平成 18 年 11 月に、市内の J R 駅 6 箇所（平日休日各 1 日：友部・岩間・笠間、平日 1 日：宍戸、稲田、福原）において鉄道・バス利用者を対象にヒアリング調査を実施し、880 サンプルを回収した。特徴的な点としては、以下の 3 点があげられる。

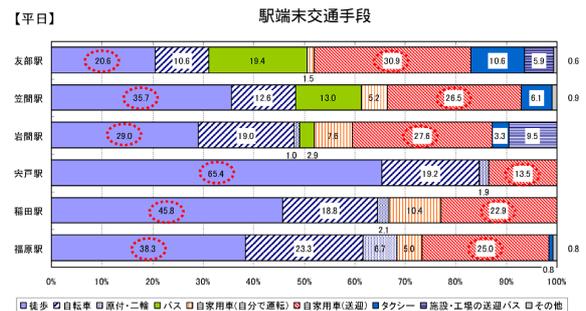
##### 1) 鉄道は、笠間市内～水戸市内の利用が多い

鉄道利用者全体の約 3 割が笠間市内～水戸市内間の利用が占める。



##### 2) 駅端末交通手段は、徒歩とキスアンドライドの比率が高い

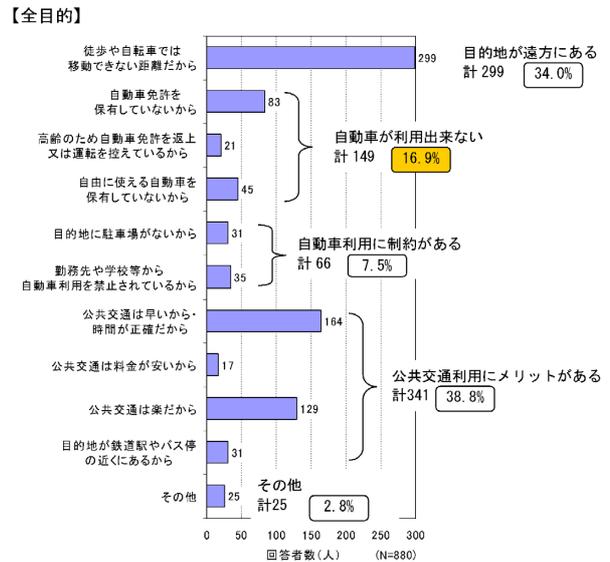
キスアンドライドの利用が、友部駅で 31%、岩間駅で 28%、笠間駅で 27%と高い割合を占める。



##### 3) 公共交通は、交通弱者（自動車利用が出来ない人）の利用が多い

「自動車免許を保有していない」、「自由に使える自動車を保有していない」、「高齢のため免許返上等」等、自動車を利用できないことを公共交通の利用理由とする回答が多い。

公共交通を利用する主な理由



#### 4 - 3 交通需要の推計

将来道路ネットワークの評価検証を行うため、道路交通需要の推計を検討した。関東地方整備局推計の平成 11 年道路交通センサスによる平成 42 年将来OD表を用いる。ゾーニングは、Bゾーンをベースに笠間市内を分割、その他を集約する。配分手法は転換率併用分割配分方式を用いる。

##### 1) 将来ケースの設定

都市構造と道路ネットワークの連携を踏まえた総合的な交通体系の検討を進めるため、将来交通量の推計にあたっては、将来OD表と将来道路ネットワークとをそれぞれ3パターンずつ想定し、以下の5ケースについて将来交通量推計を実施し、比較した。

表 将来交通量推計ケース

将来OD表 \ 将来道路ネットワーク	ネットワーク密度		
	低	高	
	現況	計画( 1)	計画 + 提案 ( 2)
趨勢型 (全ゾーンの発生集中量が増加する)	ケース 1	ケース 2	ケース 3
分散拠点型 (中心市街地ゾーンと開発拠点ゾーンの発生集中量が増加する)	-	-	ケース 4
市街地集中型 (中心市街地ゾーンの発生集中量が増加する)	-	-	ケース 5

1 現況道路ネットワークに、都市計画道路又は事業として計画がある道路を加えた案

2 計画にはないものの、将来整備の必要性が高いと考える道路を、現況 + 計画ネットワークに加えた案

##### 2) 将来交通量配分の結果

###### (1) 平均速度

将来の笠間市の平均速度は約 48km/h となり、現況に比べ約 15km/h 大きくなる。

ケース 1~3 におけるネットワークの違いによる比較では、ケース 1 の平均速度が最も小さく、約 30.5km/h である。

###### (2) 混雑度

将来の笠間市の平均混雑度は約 0.5 となり、現況に比べ約 0.3 以上小さくなる。

ケース 1~3 におけるネットワークの違いによる比較では、ケース 1 の平均混雑度が最も高く、約 1.0 である。特に笠間地区では混雑度が高く 1.28 となっている。

表 将来交通量配分の結果比較

###### 【平均速度】

		単位:km/h				
	現況再現 (参考)	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース5
OD表	H11	H42(趨勢型)	H42(趨勢型)	H42(趨勢型)	H42(分散拠点型)	H42(市街地集中型)
ネットワーク	現況(H11)	現況(H11)	将来(H42)(現況+計画)	将来(H42)(現況+計画+提案)	将来(H42)(現況+計画+提案)	将来(H42)(現況+計画+提案)
笠間地区	27.17	24.49	43.74	46.61	46.19	46.38
	-	-	(19.26)	(22.12)	(21.7)	(21.89)
友部地区	38.90	35.54	47.15	49.79	49.40	49.02
	-	-	(11.61)	(14.25)	(13.86)	(13.48)
岩間地区	37.42	33.80	48.58	49.41	49.20	49.60
	-	-	(14.78)	(15.61)	(15.41)	(15.8)
笠間市計	33.60	30.55	46.19	48.48	48.11	48.14
	-	-	(15.64)	(17.93)	(17.56)	(17.59)

次頁以降に各ケースのリンク別平均速度を示す。

###### 【混雑度】

	現況再現 (参考)	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース5
OD表	H11	H42(趨勢型)	H42(趨勢型)	H42(趨勢型)	H42(分散拠点型)	H42(市街地集中型)
ネットワーク	現況(H11)	現況(H11)	将来(H42)(現況+計画)	将来(H42)(現況+計画+提案)	将来(H42)(現況+計画+提案)	将来(H42)(現況+計画+提案)
笠間地区	1.14	1.28	0.59	0.52	0.53	0.53
	-	-	(-0.69)	(-0.77)	(-0.75)	(-0.75)
友部地区	0.75	0.89	0.57	0.53	0.55	0.54
	-	-	(-0.32)	(-0.36)	(-0.34)	(-0.35)
岩間地区	0.73	0.85	0.61	0.56	0.56	0.56
	-	-	(-0.24)	(-0.3)	(-0.3)	(-0.3)
笠間市計	0.84	0.97	0.59	0.53	0.54	0.54
	-	-	(-0.38)	(-0.44)	(-0.43)	(-0.43)

次頁以降に各ケースのリンク別混雑度を示す。

#### 4 - 4 将来交通ネットワーク案の検討

交通を取り巻く現況と課題等を踏まえ、笠間市における将来交通ネットワーク案の基本方針（案）及び、道路ネットワーク（案）、公共交通ネットワーク（案）、ソフト施策（案）を検討した。

##### 1）基本方針（案）

笠間市における将来交通ネットワークを検討する上での基本方針案を以下に示す。

- (1)新笠間市内における活発な交流を支える総合的な交通体系の構築
- (2)「交通の要所」という地の利を生かし、持続的な発展に資する交通体系の構築
- (3)生活者の視点にたった安全・安心な交通体系の構築

##### 2）将来ネットワーク（案）の検討

笠間市における将来交通ネットワークを構成する「道路」、「公共交通」、両者をつなぐ「ソフト施策」について、それぞれが目指す将来像と具体イメージを以下に示す。

道路ネットワーク案	<b>目指す将来像</b>	<b>将来ネットワークの具体イメージ</b>
	新笠間市の骨格となる道路づくり	高速道路網の整備・活用
	広域交流を支える道づくり	既存国道の機能強化
	市内の拠点等を支える道路づくり	各地区中心市街地間を連絡する道路の整備 周辺地域や市内拠点等へのアクセス道路の整備
	中心市街地の骨格となる道路づくり	中心市街地の軸となる道路整備 市街地バイパス道路の整備 中心市街地における歩行者・自転車道路ネットワークの整備
公共交通ネットワーク案	<b>目指す将来像</b>	<b>将来ネットワークの具体イメージ</b>
	公共交通による新笠間市の背骨づくり	既存バス路線の運行本数の検討 郊外部における新たな公共交通サービスの提供
	自動車に依存せずに暮らせるまちづくり	中心市街地間を結ぶバス幹線軸の形成 水戸方面への鉄道運行本数の検討 駅前駐車場の整備（P & R）
ソフト施策案	<b>目指す将来像</b>	<b>ソフト施策案</b>
	安全・快適なまちなかの道づくり	高速道路の利用促進
	市民が環境に優しい公共交通を積極的に利用するための土壌づくり	自家用車の利用抑制 公共交通の利用促進

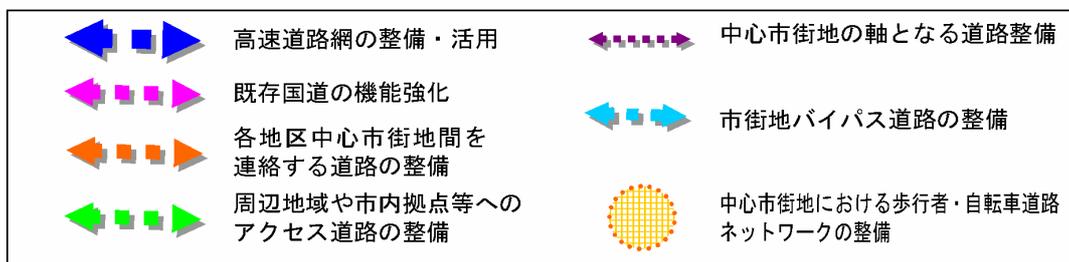
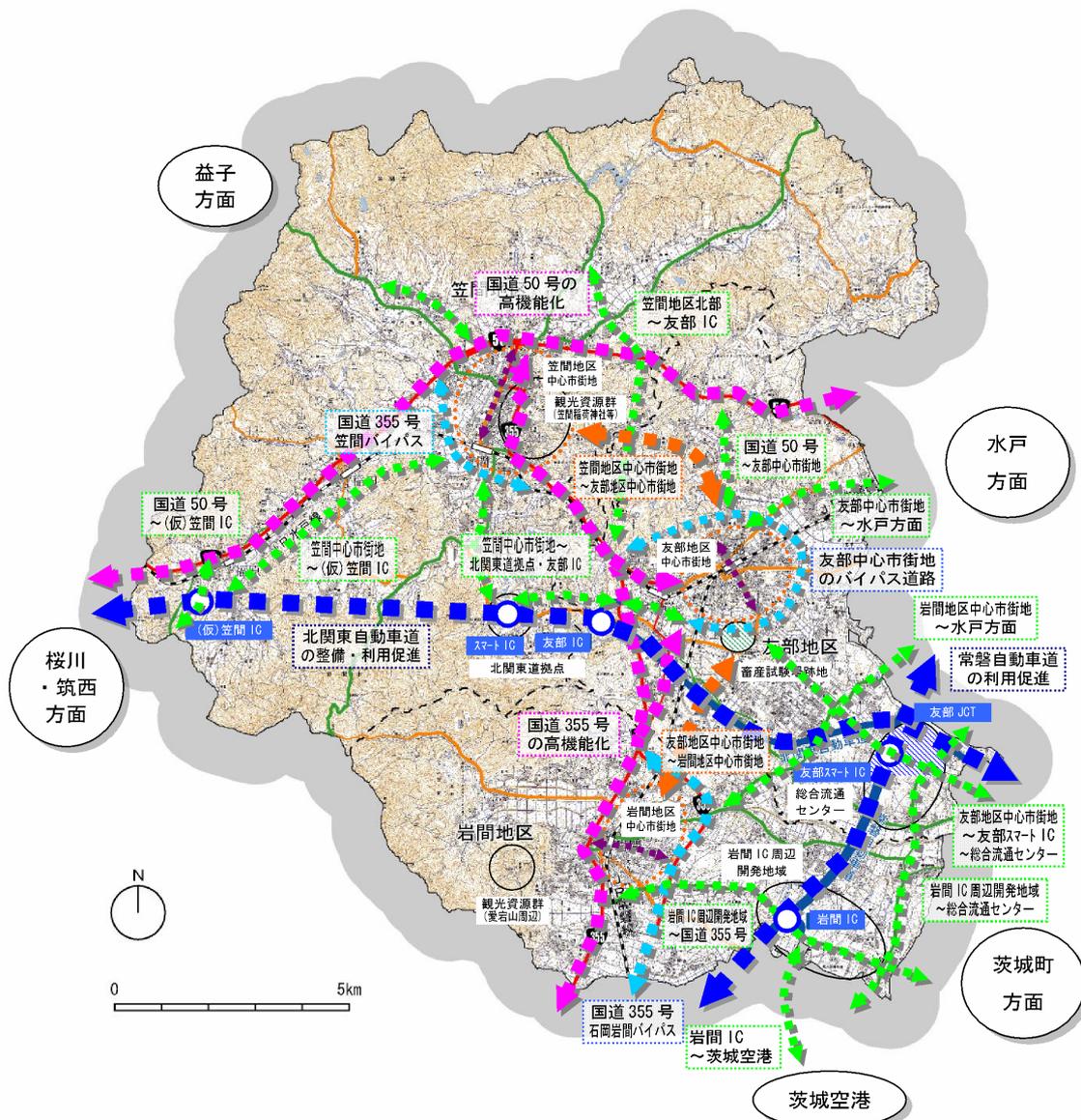


図 道路ネットワーク（案）

#### 4 - 5 笠間市総合都市交通体系調査委員会・幹事会の設立、開催

本調査の検討を進めるにあたり、委員会・幹事会を設立した。平成18年度は第1回委員会・幹事会を合同で開催した。

##### 【委員会・幹事会の実施概要】

日時：平成19年3月2日（金）14～16時

場所：笠間市友部公民館大会議室

議事事項：

1. 市長挨拶
2. 委嘱状交付
3. 委員会設置要綱案の承認
4. 委員長等選出
5. 討議
  - ・ 調査の全体像
  - ・ 交通を取り巻く現況と課題
  - ・ 将来交通ネットワーク案の検討

■ 市長 挨拶



■ 委嘱状の交付



■ 山形耕一委員長 挨拶



■ 事務局による資料説明



■ 討議の様子

